

ごけい たより
互恵便り 第20号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



10月1日 大川町田辺池
写真 中谷石材(株)大川工場 奥野武

この白鳥は…?

「大川町の田辺池に白鳥が飛来している」と情報を頂き撮影して来ました。」と奥野さんが十月一日の夕方に撮ってくれた写真です。

香川県庁のみどり保全課と日本野鳥の会に問い合わせを教えていただきました。

もしも、コバクチョウが越冬のために香川県に渡って来たなら、それはとても珍しいことなのだそう。ちなみに、オオハクチョウが飛来する可能性は全くと言っていいほどないとも。日本海側の鳥取県などには飛来しますが、瀬戸内海の方には渡って来ないということでしょうか。とすると、この白鳥はコバクチョウでしょうか？

ネット情報によると、コバクチョウが、2013年から2016年頃には高松市を中心に、香東川、元津川、春日川や三木町のため池などに生息していたそうです。

この日餌を求めて田辺池に飛来した美しいシルエットの持ち主は、ペットとして飼われていた外来種のコバクチョウの野生化した仲間だったのでしょうか。

一枚の写真から、少しだけ白鳥について知ることができました。



秋を迎えて寒暖の差が大きくなると、花もまた色鮮やかに咲いてくれるようです。やっぱりきれいに咲いたお花をみると、癒されますね。



中谷石材グループ 『下期実行計画発表会』を開催

10月1日(土)、中谷石材グループの『下期実行計画発表会』を開催しました。全社員で大切なことを共有し、気持ちを新たにして今期経営の後半がスタートしています。

社長はじめ、全社員が自己変革を必要とされています！

早くも、春の発表会から半年が経過しました。当社では半期ごとに計画を検証し、計画達成をするために行動計画の見直しをします。

この発表会には全社員が参加します。場を共有して計画の進行確認をするのももちろんですが、一番肝心なのは会社が目指すもの、会社が大事にしていることを改めて全社で確認する機会だということです。

社員は毎日、それぞれの役割をこなすことに真剣に取り組んでいます。その頑張りを「見える価値」としてくれるのが、売上げや販売数などの具体的な数字です。

ひるがえって、電話応対から商品の品質・アフターサービスへの満足などは数値化しにくい「見えない価値」です。

この目に見える価値と見えない価値の両方が、会社の存続と前進に絶対必要なものだと私は考えています。

半期に1度の発表会では、あらためてそのことを社員全員で確認しています。

供養産業は転換期を迎えています。これまでと同様に、いやそれ以上にこの事業の継承継続を守り続けるためにも、当社も大きな変革の時を迎えています。私たち全社員が、共に自己変革を必要とされています。

中谷明生



どの部署も仕事の手を止めて全員参加します。今回もオンライン形式での開催でしたが、コロナ禍の前までは全員が集まって開催してきました。来期は、みんなで集まりたいですね。



何代ものお付き合いを願って これからも、心を尽くして参ります

いつも『互恵便り』をお読み頂きありがとうございます。先月、お客様の声を直接ハガキにて聞かせて頂く機会を得ました。2百枚ほどいただいたハガキの中には、励ましの言葉と共に「お墓」に関してのお問い合わせやご相談もありました。私たちはお客様の声を大切にお聞きしながら、これからもより一層“墓守”としての役目を果たすよう努めていきます。

・ 毎言愛読しています。
読むたびに、御社の業務が良く分かります。
又、世間全般の墓事情も詳細に載っており参考になります。

まんのこ町 N様

・ 中谷石材で代々墓を作って約20年くらいになつて思われるが、古い墓が気になつており、一度現場を見て戴いたらと思います。よろしく。

高瀬町 M様

・ 古いお墓がたくさんあります。父が亡くなり、奇々異変を検討中です。適価でお願ひできたらと思っています。

坂出市 B様

・ 毎言楽しみにしています。ゆくゆくは、実家のお墓についても相談させて頂ければ、と思つております。

綾歌町 M様

お客様からのおハガキの中から、もうお一人ご紹介させていただきます。

・ 互恵便りに心を癒されています。80歳を過ぎ我が身一人となりました。先祖供養の大切さを身をもって感じています。先相供養の大地に帰る気持ちはなく、今後お墓をどのようにすべきか迷っています。①お寺の永代供養にあずかる②お墓を一つにまとめお参りで済ませたい③その他の方法をご教授ください。

山本町 F様

当社の職人達は、日々の仕事の中で施主様の想いに触れてその想いに応えるためにも、その技術を磨き続けてまいりました。これは、庵治産地の職人の誰もが同じだと思います。私たちは産地に連綿と受け継がれた技術や知識を用い、石材、お墓の専門家としてこれからも、お客様の大切なお墓を未来に継承するお手伝いが出来ればと考えております。どうぞ宜しくお願ひ致します。



中谷石材(株)「わたしの仕事」

「字彫り」 上原 章

当社は墓石販売を中心に、庵治石採掘から、加工(製作、字彫、細工)、施工までのすべてを自社工場にて行っています。「字彫り」とは、お墓や霊標に戒名などを石に彫り込む作業のことを言います。

皆さん、こんにちは。字彫り職人の上原章です。

私は昭和50年(1975年)香川県香川町に生まれ、小学生の時に一家で庵治町に引っ越してきました。

学校を出ていくつか仕事をした後、父と一緒に仕事をしました。父も字彫り職人でした。2人で自営の字彫り工場をやっていたのですが、10年近く前にそれを閉じて、中谷石材に入社しました。私はこの仕事が好きなので、同じ仕事ができて幸せです。

字彫り職人の父とこの仕事を始めて

会社に入ると、甲さんという先輩の字彫り職人がいました(今もいます)。甲さんのことは、「絶対に仕事に妥協しない人」として以前から知っていました。当時の甲さんはもう、バリバリのバリバリ(笑)。

こんなことを言われたのをよく覚えています。

「仕事は80点90点じゃいかんぞお。100点に近づくとどうでもやるんじや。それには120点取るつもりでないと、100点はとれん。」
少し変わってるけどスゴイおっさんと、尊敬しましたね。

会社では、尊敬する先輩の甲さんと共に

二人で墓地にお墓を見に行つたこともあります。この字はいいなとか、彫りを抑えるところ、流れるところなどについて話しながら墓地をめぐりました。昔の手彫りの字などは強弱が違います。柔らかみがあるんですね。どういふふうに彫りよつたんでしょうか：などと、甲さんと話は尽きませんでした。お墓のマニアか！つて言われそうです(笑)。でも、今でもお墓を見て周ることはありません。



先輩の甲さんとの仲の良さが、う〜んと伝わって来る写真ですね。「彫るのが好きな字ですか？ゴム切りの畠山さんは愛と言いました？じゃあ、ぼくは恋ですね(笑)」と、いつも明るい上原さんです。

私は、庵治石は本当に良い石だと思っています。特に細目(こまめ)は、きれいに彫れたらすごく良いですが、へたに彫つたらそれが出てしまします。むずかしい分、やりがいも大きいです。墓石正面の字を彫らしてもらったときなどは、その仕事を終えたときにホントに達成感がありますね。うれしいですよ。

字彫りにはそれぞれの個性があります。大事なものは「調和」だと私は思っています。既存のお墓に、亡くなられた方のお名前を追彫することもあります。そのときに大事なものは、すでにお墓に彫られている字とぶつからないことです。私らしい字とか、私がことう彫りたいとかは必要ありません。お墓の調和が一番大事です。この事は会社の字彫り課全体で大事にしています。

大事にしているのは「調和」です

子どもの頃から「字彫り」が身近でしたけど、関心はありませんでした。けれど、字彫りの仕事を始めてからは、父が言った「この仕事は、家族が手を合わせてくれる仕事。その人の生きてきた証(あかし)を刻むんや」という言葉に、



この職場はみんな仲がいいんですよ。自分は途中入社ですが、先輩にイヤな思いをしたことはありません。

出来る限り「字彫り」を続けたい

残念ながら、世の中の流れで字彫りの仕事は少なくなつてきています。それは仕方がありません。ただ、無くなることはないと思っています。

できることならこの仕事をやり続けたい。衰えを感じるまで彫り続けたいと思っています。衰えたと自分で感じたらイヤになるかも知れませんがね。その時まで、今よりうまくなり続けたいと思って努力していきます。



字彫課 上原 章



「草むしり日記」 No.45

みなさん、こんにちは。お早目のご予約を！とお声がけさせていただきましたが、年末に向けての剪定他のご予約を多数いただいたことを知ったメンバー達からは、嬉しい悲鳴が聞こえております。「まだまだ、草むしりには応援の手が欲しい～！」

部署を超えて、 草むしりの応援に行っています！



こんにちは！ 字彫課の豊永摩利子です。

9月15日、久しぶりに草むしりに参加して来ました。左の写真はこの日に剪定したキンモクセイの木です！お客さまとの出会いも含めて充実した一日でした。



広いお庭のお宅で たくさんのお剪定作業を

この日は、何度もお世話になっている今田班への参加でした。今回は製造部の鹿谷さんと同乗だったので、現場までの道中に色々とお話ができました。今まで、長時間お話ししたことがなかったので(笑)、この時間もなかなか新鮮で楽しかったです！

今回は東かがわ市の鎌田様というお客様のお家で、剪定や伐採を行ないました。見たことのない大きなキンモクセイやばななど、木々が多くて広いお庭のあるお家でした。特にキンモクセイは、皆で力を合わせてやっとな剪定が終了できた感動する大きさでした！

お客様と記念撮影も！

初めに今田リーダーにリピーターのお客様かどうかを確認したところ、新規のお客様とのことでした。よし！こは私の出番だー！と早速お客様に「草むしり.comをどうぞ知りましたか？」と直撃インタビューを開始。

「新聞に入っていたチラシを見て」とのお返事に、「互恵便り」を読んでも下さったんだあ〜と親近感が急上昇！そこで、「鎌田様の記事を互恵便りに掲載させてもらってもいいですか？」「写真も撮らせてもらえませんか？」とお願いしまくりました。



そうしたら、鎌田様は笑顔で、「まわんよ」とすぐに承諾して下さいました。その写真がこちらです。帰り際にも、一緒に写真撮ってもらえますか？と図々しいお願いにも、快く記念写真を撮ってくれました。ありがとうございました！

私たちの仕事を たくさん褒めて下さって

鎌田様は、最初から最後まで私たちの作業に立ち会いして下さいました。そして、作業をしているメンバーを眺めながら、「よう働くなあ」「プロは違うなあ」「すごいなあ」と何度も何度も声をかけて下さいました。

また、私の本業は石材事業の事務員で今日はお手伝いですとお伝えすると、部署間を超えて支援し合っていることについても、「いいことだなあ」と。

この日は鎌田様のたくさんのお心遣いに感動し、縁あってお仕事をさせて頂けた事に感謝したい、本当に楽しい一日となりました。

やっぱり、お客様に直接お会いできて喜んで頂けるのがこの仕事の最大の魅力です！いつかまた鎌田様にお会いできるといいなあ。

もうひとつの感謝は 草むしりのメンバーへ



そしてもう一つ感謝があります。それは草むしりの方々に、です。

私はこれまで何度も、今田班でお世話になっていきます。初めて参加した時はとても不安でした。未知の世界なわけで、まず役に立てるかどうかが、そが一番不安でした。

でも皆さんが色々教えてくれて、何度も参加するようになって顔と名前も少しずつ一致し、次は誰と仲良くなれるかなあと、それも楽しみの一つになっています。(笑)

プライベートで、私も実家で剪定したり草むしりしたりしています。鎌田様のお宅にもあった木が実家にもあり、今田さんの奥さん(プロです！)に剪定のコツを教えてもらいました。こういう役立つ知識を得たり、新しい発見というのも未経験者だからこそたくさんあって楽しいです。

今回も、充実した一日をありがとうございました！





以前からのお客様で、個人の畑です。今回も、耕運機を使って畑を耕してうね作りもしました。自分だけでは出来なくなったとはいえ、冬野菜を植えてまだまだ楽しみたいですね。これで安心です^^。私たちが応援出来ます！これからも家庭菜園を楽しんでいただきたいと思ひます。

たくさんのご利用とご予約を、ありがとうございます！



今年、とりわけ草の伸びが早かった？という声も聞こえてきました。あっという間に草だらけになってしまうお庭も、私たちにお任せ下さい。あっという間にこのようにスッキリ！

今月もたくさんのご利用を頂きありがとうございます。
9月頃から、とにかくリピーターのお客様からのご予約をたくさんいただいています。「毎年してもらっているから」と、「連絡をくださるお客様は、ご自分のお庭の剪定の時期を心得ているのだ」と思っています。
「同じくお客様が、繰り返しご利用して下さるのはとても嬉しいことです。」
一方で、「草むしり.com」のフリーダイヤルへのお問い合わせも増えています。例えば：
「手入れをするにも広範囲でもう自分一人では出来ない。」
「何も作っていないから、草がすいていって困っている。」

「瓦職人だった藤澤さんを草むしりのリーダーに迎えてから、雨漏りのご相談やお応えしてきました。高齢者にもお応えしてきました。高齢者にとって、高い所の作業は無理できません。雨樋の掃除は、今ではとても喜ばれている仕事のひとつです。」
「自宅の瓦や雨樋の状態が気になっていらっしゃる方は、お気軽にお問い合わせください。」



屋根瓦のご相談にもお応えしています

「こんな相談のほかに、最近はお庭の草刈りや家庭菜園の後片付けの依頼などが増えてきました。他には、防草シート張りもあります。」
お客様のご相談からは高齢化に伴い、日々の暮らしの中で現実困っている様子が伝わります。
親と同居されている方が少ない。長寿の方が増えていて、そのお子さんも年齢が高い。共働きの家庭が多い。とにかく家や庭の維持と管理が大変で...。
お電話での相談も今までは「両親からだったのが、今回からはお子様が連絡を下さる...というケースが増えていることからも感じます。」

チーム数を増やそうと人員募集を続けています

秋を迎えて、ようやく過ごしやすくなりました。嬉しいことに、これから年末にかけての剪定のご予約も、すでにたくさんいただいています。お正月前のお墓の掃除や草むしりのご予約もです。
「予約にお応えするためにも、当社では、草むしりの仕事を担うチーム数を増やそうと、さらに仲間を募集しています。」
私たちは毎日、草むしりの仕事と向き合っています。夏に参加された方の中には暑い暑さと対峙して辞めてしまった方もいます。もちろん、今も一緒に頑張ってくれている方もいます。困っているお客様がいる限り、これからも私たちの仕事は続きます。
「この仕事の終わりには、必ずお客様の笑顔が待っています。仕事の結果を喜んで眺めて下さるお客様に目の前で出会えます。」
私たち自身には、達成感があります。ただただ黙々と、毎日手を動かすこの仕事を頑張れるのは、こんな喜びがあるからです。草むしりの仕事に関心がある方は、お問い合わせください。」



 草むしり.com 高松

フリーダイヤル

 0120-148-144

お庭がスッキリすると、気持ちもスッキリできます！



今月の社長のコラム

お陰様です。

互恵便りも今回で20号となりました。ここまでなんとか無事に発行をすることができました。社員の頑張りや周りの協力によって、毎月続けられています。そして何よりも、読んで下さっているみなさんの存在があつてこそです。

しあわせな経営者だなあ

私のみならず社員にも、楽しみに読んでいますよと、お声掛けしていただくことがあります。励ましのお葉書や、お電話をいただくこともあります。わざわざそのお手間をかけてくださったことを思うと、(大げさに聞こえるでしょうが)自分しあわせな経営者だなあと感謝の気持ちが湧いてきます。

弊社で環境整備活動に取り組み始めたのは、2002年のことでした。それからずっと続けています。(株)そうじの力の小早社長にご指導いただいている現在は、環境整備の再強化期間です。



草むしり事業部と有志が続けている神社のトイレ掃除も、今月で26回目。始業前の朝6時に現場集合ですが、だんだん薄暗くなってきましたね〜。これから冬に向かっては水も冷たくなります。みなさん頑張って下さい。

私の取り組むことには、特別なことは何もありません。掃除をすることは誰にでもできます。ニューズレターもできれば、聞わなければ続けられます。毎月のお墓参りも同じです。

掃除は早いか遅いかを問わなければ、その人なりにできることです。ニューズレターはお手紙ですから、字のうまさのようなことを気にしなければ、誰でもお札や気持ちをお届けできます。そしてどちらも自分の力が及ばないところは、得意な方の力を感謝してお借りします。

毎月のお墓参りもそうです。これこそ私一人でも続けることができます。

自分の非才にも感謝を忘れずにいたい

私の取り組んでいることは、特別な才能がいらないことばかりです。才能や高い能力の必要とされることは、社員を筆頭に、協力会社さんなど周りの力をお借りして進めていく、それが私の性分に合っていると思つて続けています。

自分には群を抜いた経営の才覚があると思えないからこそ(忘れてしまいそうになる)ことがあります(が)、感謝を忘れずにいようと思える、そんな自分の非才にも感謝を忘れずにこれからも経営を続けま

す。大変革が必須の今を迎えている当社です。お客様の応援と見守りをこれからもよろしくお願いいたします。

社長 中谷明生

産休をいただいで子育てに専念しています



早いもので、次女を出産して今月で半年になります。2015年の長女出産に次いで、この春から2度目の産休をいただいで子育てに専念中です。

髪が短いのもありますが、次女も長女同様に男の子っぽい顔立ちです。(笑)最近は何もしつかりしてききました。時々雄叫びをあげながら一人で独り言(?)を長々とおしゃべりしたり、スムーズな寝返りをしたりと顔で見えますが、まだ戻れません!少しずつできることが増えて、日々成長を感じています。

家事を始めようしたら泣き出したり、抱っこして寝たので寝かせようと置くと起きたり、泣いたり...長女の時よりも手がかかっているような気がします。(汗)

でも、主人や長女の協力も得て、どうにか乗り切っている毎日です。大変な子育てですが、ニコッと笑う笑顔に癒されています。そして、次女が声を出して笑わすことが今の私のマイブームです。

中谷石材の皆さん、おかげさまで楽しく安心して子育てができています。復帰したら、よろしくお願ひします。

本社情報管理室 伏見夏美



育休の最長は誕生日迄ですので、来年4月には復帰予定です。ただ保育園の入園には施設、子ども共に超えないといけないハードルがあり、順調に進めることができるのか今からドキドキです。あつという間にすぎる時間を大切にしながら、日々過ごしていきます。



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を...
NS 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松
フリーダイヤル 0120-148-144